



会長 菅原 慶一
幹事 小野寺 伸浩
会報 高田 次雄 村上 武彦
 森田 峯男

例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2670回例会 2018.11.15 No.19

本日の出席率

・本日の出席率 100%

ニコニコボックス

- ・菅原慶一会長 三浦孝次郎会員のスピーチに期待。
- ・三浦孝次郎会員 御無沙汰しております。本日はスピーチ担当です。よろしくお願ひします。
- ・布施孝之会員 三浦孝次郎会員のスピーチを楽しみにしています。
- ・村上武彦会員 スピーチに期待して。
- ・飯塚仁哉会員 弁舌爽やかな三浦孝次郎会員のスピーチ、楽しみに聞いてみますよ。
- ・佐藤幸一会員 三浦孝次郎会員のスピーチ、大いに期待致します。
- ・江川元徳会員 鹿児島で文部科学大臣の表彰を受けました。
- ・八谷郁夫会員 三浦孝次郎会員久し振りです。スピーチ楽しみです。
- ・菅野幸一郎会員 久々の三浦孝次郎会員のスピーチにご期待致します。
- ・佐藤静市会員 三浦孝次郎会員のスピーチを歓迎。
- ・猪股育夫会員 三浦孝次郎会員のスピーチにご期待致します。
- ・山田正会員 三浦孝次郎会員のスピーチに期待して。
- ・二階堂恭子会員 今日のスピーチ楽しみです。三浦孝次郎会員のお話、初めてです。期待しています。
- ・小野寺伸浩幹事以下 本日のスピーチに期待して。
 佐々木崇会員 佐藤敬喜会員 千葉吉男会員
 山田直志会員 菅原文之会員 佐々木源悦会員
 高橋利光会員 布施孝尚会員 及川昭宏会員
 岩淵栄市会員 杉田広仁会員 佐藤早智子会員
 千葉正宏会員 加藤亮会員 關孝会員
 後藤和人会員
 以上、ありがとうございます。

会長要件 菅原慶一会長

11月も半ばを迎え、気持ちだけがなぜか忙しい今日この頃です。いい年末を迎えられるよう体調管理に注意しながら、明るくつとめて参りましょう。

ロータリー財団月間ということで、マイロータリー等の中から財団基金を使い様々な事業を展開している内容のページを見てみました。その中で私の職業柄「水と衛生」という内容のものが気にかかり少し考えてみました。

現在、世界の総人口73億人のうち、21億人が安全な水が自宅で入手することができず、45億人が安全に管理されたトイレを使うことができていないということ。そして、年間30万人以上の子供が命を落としているのだそうです。比較して日本の水は徹底した水道法等による水質基準の管理により、世界で水道水が飲める国は15ヶ国しかないのだそうですが、その中にあるだけでも十分に安全な水道水が供給されているのが現状です。

ロータリーの活動として、会員の世界的ネットワークを通じて、世界各地の人々と協力して教員研修、カリキュラム作成、さらに家庭と学校の水・衛生設備の改善を通じて、子供への教育を行っています。ロータリーによる「水と衛生」についての各種の活動に敬服すると共に、日本のそういった安全な現状に改めて感謝をした次第です。

幹事報告 小野寺伸浩幹事

- ・ガバナー事務所より
 ロータリー・リーダーシップ研修会（RLI）
 パートIの案内が届く
 日時 12月1日(土) 9:00~16:30
 会場 仙台迎賓館・斉苑
- ・伊丹有明RCより、会報が届く
- ・佐沼高等学校定時制より、ETAだよりが届く

各委員会報告

・国際奉仕委員会（千葉正宏委員長）
 ご案内してあります、明日（11/16）午後6時30分より行います。ドイツ・ハンブルグ国際大会登録説明会において、申し込み用紙に署名していただきます。尚、パスポートをご持参下さい。

今週のスピーチ 三浦孝次郎会員

「液状化現象について」
 今日は、液状化現象についてお話したいと思ひます。皆様もご承知の通り、今年には日本海側で1月・2月に豪雪、8月に西日本で集中豪雨、6月に大阪地震、台風24号、25号上陸、9月に入って北海道胆振東部地震と大きな災害がありました。猛暑、異常気象のため災害の多い年になりました。

地震により一部の集落では液状化現象で町全体の家が傾き、再建できない状態となりました。液状化現象は地下で起こるため、なかなか難しいものです。昔の人は、ここに家を建てると傾くとか、流されるとか、きちんと口で言い伝えられていたのですが、現在は、宅地造成をし建て売りです。地下がどの様になっているかは、我々には分かりにくいものです。

液状化現象は、水位の高い砂地盤が地震の振動によって動かされ、更に強い圧力が加わり液体状になる現象です。これにより比重の大きい構造物が埋もれ、倒れたり、地中の比重の小さい構造物（下水道管等）が浮き上がったりします。

1964年6月16日に発生した新潟地震の際、信濃川河畔や新潟空港などで、この現象が発生したことから日本でも知られるところとなりました。5階建のアパート10棟位が、全部傾むいたり、沈んだり、横倒しになったりしました。それから阪神淡路地震、東日本大地震、熊本地震等でも液状化現象が発生しました。東日本大地震の時は、地震で液状化現象で地盤が急激に支持力を失ったところへ津波がきて、流されました。

重心の高い建物や重心が極度に偏心した建物では、より顕著に不等沈下が生じ、転倒ないし倒壊に至る場

合があります。この転倒は、建物自体が壊れなければゆっくりしたもので、ゆっくりと船が沈むように傾き建物が横倒しになります。

下層の地盤が砂質土で、表層を粘土質で覆った水田等で液状化が起きた場合は、液状化を起こした砂が表層の粘土を突き砂り、水と砂を同時に吹き上げるボイリング（噴砂）と呼ぶ現象を起こすことがあり、1964年の新潟地震では、県内の各地でボイリングが観測されました。

又、側方流動というものもあります。側方流動は、地盤流動現象の一つで、傾斜や段差のある地形で液状化現象が起きた際に、いわゆる泥水状になった地盤が水平方向に移動する現象です。

側方流動には大きく分けて2つのタイプがあります。1つは、地表面が1~2%程度のゆるい勾配になっており、地中部には液状化層が存在するものです。この場合、地盤で傾斜に沿って移動します。もう1つは、護岸などで見られるタイプで、地震の揺れおよび地盤の液状化で護岸などが移動することで、後背の地盤が側方流動を引き起こすものです。

このような側方流動が発生した場合、地中構造物に多大な影響を与えます。例えば、杭基礎であれば、側方流動が発生することにより杭は地盤から水平方向に剪断や曲げの力を受けることとなります。この地盤からの力が杭の耐力を超過し、杭の剪断破壊等を起こします。このため、杭基礎は上部構造物を支える事ができなくなり、場合によっては構造物の転倒などを引き起こすことにつながっていきます。

現在、液状化現象の発生危険箇所をとりまとめたハザードマップが整備されつつあり、堤防の補強などの措置が図られています。ライフラインの被害も懸念されるため、水道管は耐震管に布設替えが進みつつあり、ガス管はポリエチレン化が進んでいます。一方で、下水道管は耐震化が難しく、復旧も遅いため、居住困難な状態が長引く場合があります。

— 液状化の実験及び質疑応答がありました。

第42回 佐沼ロータリークラブ旗争奪 登米市少年少女野球大会

とき 2018年11月3日(土) 結果 優勝 南方バリキーズ
 ところ 光ヶ丘球場・大東球場 準優勝 新田小ツインズ
 第3位 津山シダースピリッツ
 第3位 石森小ライダース



来賓の熊谷市長を囲んで開会式



ゲーム開始



各チームの受付



優勝 南方バリキーズ



準優勝 新田小ツインズ



会員手作りのうどんサービス